

## 定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年7月9日（水）午後1時15分～午後3時15分
- 2 出席者 斎藤委員長、櫻井委員、和田委員、逸見委員、山田委員  
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、  
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本  
部長  
説明補助者  
留置管理課長、公安委員会事務室長、監察官室長、交通企画課長、交  
通聴聞官、運転免許センターセンター長補佐
- 3 議題事項
  - (1) 公安委員会宛て審査請求に係る新潟県情報公開審査会への諮問について  
公安委員会宛てに届いた行政文書部分公開決定処分に対する審査請求につい  
て、審議の結果、県情報公開条例第17条第1項の規定により、県情報公開審査  
会に諮問することを決定した。  
  
委員から、「県情報公開審査会に対し、対象文書をより一層慎重に取扱うよう  
に要望していただきたい。」旨の発言があり、公安委員会事務室長から、「諮問  
を提出する際に要望したい。」旨の説明があった。
  - (2) 運転免許証交付処分に係る審査請求の審理経過報告及び裁決について  
監察官室長から、運転免許証交付処分に係る審査請求について、審理経過の  
報告があり、裁決した。
  - (3) 自動車運転代行業の営業停止命令について  
交通企画課長から、「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律違反によ  
り、政令で定める「営業の停止の基準」に該当した運転代行業者に対する所要  
の手続が完了したことから、営業停止命令の行政処分を決定したい。」旨の説明  
があり、審議の結果、原案どおり決定した。
  - (4) 運転免許関係の意見聴取等について  
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案22件について、事案内容及び意見聴  
取等結果の説明があり、審議の結果、取消し22件の行政処分を決定した。
- 4 報告事項
  - (1) 新潟東署留置施設における自殺企図事案の発生について  
留置管理課長から、新潟東署留置施設における自殺企図事案の発生について  
報告があった。
  - (2) 内部公益通報の受理について

首席監察官から、内部公益通報の受理について報告があった。

(3) 国家賠償請求事件の発生と処理方針について

監察官室長から、国家賠償請求事件の発生と処理方針について報告があった。

(4) 国際電話利用休止の普及促進に向けた緊急対策の実施について

生活安全部長から、県知事・県警察本部長の緊急共同メッセージの発信による、国際電話利用休止の普及促進に向けた緊急対策の実施について、資料に基づき報告があった。

委員から、「県民における特殊詐欺被害防止の気運を高めるために、気運醸成を図ることは大切なことだと思う。」旨の発言があった。

(5) 県、県警察、保険会社3者共催による第3回特殊詐欺被害防止川柳コンテストの開催について

生活安全部長から、県、県警察、保険会社3者共催による第3回特殊詐欺被害防止川柳コンテストの開催について、資料に基づき報告があった。

(6) 新潟駅周辺地区の安全・安心の確保に向けた集中警戒対策の実施について

生活安全部長から、新潟駅周辺地区の安全・安心の確保に向けた集中警戒対策の実施について、資料に基づき報告があった。

委員から、「新潟駅南口に集まる少年グループが凶悪化することのないように、早期に対策を行っていくことが大事だと思う。」旨の発言があった。

(7) 新潟駅周辺における少年被疑者による傷害事件の検挙について

生活安全部長から、新潟駅周辺における少年被疑者による傷害事件の検挙について、資料に基づき報告があった。

(8) SNS型ロマンス詐欺被疑者の検挙について

組織犯罪対策本部長から、SNS型ロマンス詐欺被疑者の検挙について、資料に基づき報告があった。

委員から、「SNS型ロマンス詐欺被疑者を検挙できたことは、大きな成果だと思う。詐欺組織としては末端の者か。」旨の質問があり、組織犯罪対策本部長から、「捜査中ではあるが被疑者は末端の者と思われる。さらに組織の上にいる者の検挙に繋がるように、捜査を進めてまいりたい。」旨の説明があった。

(9) 「ニイガタ姉さん 飲酒運転根絶ポスター完成発表会」の実施について

交通部長から、「ニイガタ姉さん 飲酒運転根絶ポスター完成発表会」の実施について、資料に基づき報告があった。

委員から、「交通部においても、先ほどの生活安全部においても広報に工夫が見られる。県民の耳目を集めて、注意喚起を行うことが大切であり、取組を進めていただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「運転免許関係の聴聞では飲酒運転による案件が多いほか、聴聞の対象とならない飲酒運転もあることを考えると、飲酒運転がこんなにあるのかと心配していた。特に一般の方は運転前にアルコールチェックをする機会がなく、飲酒運転を防止する機会が少ないことから、飲酒運転根絶の意識が浸透して飲酒運転がなくなるように、広報啓発に努めていただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「運転前のアルコールチェックが義務付けられている事業所においても、守られない風潮が見られる。飲酒運転はいけないということが守られないとなれば、取締りを強化していくしかないと思う。」旨の発言があった。

#### (10) 死亡ひき逃げ事件被疑者の検挙について

交通部長から、死亡ひき逃げ事件被疑者の検挙について、資料に基づき報告があった。

委員から、「事故現場の国道は観光地に続く道路で、かなりのスピードを出してスポーツサイクルに乗っている方が見られる。そのような自転車利用者に対する交通事故に関する注意喚起も必要だと思う。」旨の発言があり、さらに委員から、「本件事故現場は道路幅が狭く、自転車の通行は危険であることから、今後も自転車利用者が当事者となる交通事故の発生が懸念される。通行する自転車利用者には、より一層の注意喚起をお願いしたい。注意喚起については看板の設置のほか、ロードマップに掲載するなどの方法も有効だと思う。」旨の発言があり、交通部長から、「事故現場となった国道は観光需要もあり、多くのサイクリストが走っている状況があるほか、幅が狭く非常に危険な道路であることから、道路管理者等と協力して自転車利用者に関する交通事故防止に努めてまいりたい。」旨の発言があった。

### 5 その他

#### (1) 猛暑に伴う職員の健康管理について

本部長から、「暑い日が続いているが、業務遂行に当たり留意してまいりたい。」旨の発言があった。